

【今後の活動情報】

嶋谷佳恵

【当日運営】

2021/07/22(木・祝)~07/25(日)

(石榴の花が咲いてる。)

『shuku-sai』

@新宿シアター・ミラクル

Twitter: @shie_shim

フジタイセイ

【出演】

2021/09/10(金)~09/12(日)

salty rock 21th stage

熱海殺人事件「売春捜査官」

@レンタルスペース+カフェ 兎亭

12月頃演出舞台あり

藤本悠希

Twitter: @fuji_enja

嶋谷佳恵、フジタイセイ

2021/09/22(水)~09/26(日)

嶋谷佳恵×高橋紗綾企画ふたり

第三回目「さんにな」

@GALLERY LIPP(ギャラリー・リップ)

【企画・出演】嶋谷佳恵

【演出】フジタイセイ

YouTube 劇団肋骨蜜柑同好会公式チャンネル

「あなうま」公開中

<https://youtu.be/7WhAgZIU1gE>

【出演】嶋谷佳恵

【演出】フジタイセイ

サブテレニアン15周年記念月間参加作品

劇団肋骨蜜柑同好会 meetsCLASSICS No.3

走れメロス

~TOKYO2020~

2021年6月8日(火)~13日(日)

演劇フリースペース・サブテレニアン



演出挨拶

meetsCLASSICSという一連の作品群は、「古典テキストを改変しない(カット、編集は行わない)」というルールでやってきました。しかし今回『走れメロス』を題材に選ぶことになって、私は敢えてそのルールを取っ払うことにしました。『走れメロス』という作品が、あまりにも多くの文脈のなかでかろうじて成立しているある種のパロディと捉えられるからです。

その文脈を「イマ・ココ」と結びつけるには、膨大な言葉と強靱な肉体が必要でした。そこで我々は、そこからはじめることにしました。つまり、ゼミとランニングです。メロスに付随するさまざまな文脈を言葉のレベルで飲み下す試みと、肉体のレベルで乗り越える試みです。

古代ギリシャで発生したダモンとフィンティアスの伝承は、シラーの手によって譚詩として生まれ変わり、そして日本に伝わった。軍国主義が力をつける大正～昭和期の日本で、作品の持つ「意味」は大きく変わりました。

さて、現時点でこの伝承の末端はこの『走れメロス～TOKYO20XX～』です。ここになにが見いだされ、なにが生まれるのか。それは、我々にも、まだ、わかりません。

フジタイセイ (劇団肋骨蜜柑同好会)

【出演】

赤ジャージ(むさぼり)藤本悠希

緑ジャージ(にくしみ)嶋谷佳恵

黄ジャージ(おろかさ)フジタイセイ

以上、劇団肋骨蜜柑同好会

【スタッフ】

舞台美術: 海月里ほとり(劇団肋骨蜜柑同好会)

照明: 少年(劇団肋骨蜜柑同好会)

音響: 桜義一(劇団肋骨蜜柑同好会)

宣伝美術: 少年(劇団肋骨蜜柑同好会)

配信用映像撮影: 田中カズヒロ(東京写真工房)

制作: しむじゃっく

プロデューサー: 山田拓貴(劇団肋骨蜜柑同好会)

総務: 嶋谷佳恵(劇団肋骨蜜柑同好会)

監査: とむ(劇団肋骨蜜柑同好会)

猫の手: 室田溪人(劇団肋骨蜜柑同好会)、森かなみ(劇団肋骨蜜柑同好会)

企画製作: 肋骨組

【スペシャルサンクス】

しむじゃっく

田瓶市観光協会

東京写真工房

毛総文芸振興会

アンディ本山

交点架台

藤田家のみなさん

藤本家のみなさん

水口昂之

やまおきあや

兒林美沙紀

